2026年11月4日

各　位

会 社 名　株式会社カナデン
代表者名　代表取締役社長　　守屋　太
（コード番号 8081 東証プライム）
問合せ先　取締役 管理本部長　　黒田　暢彦
（TEL　03－6747－8805）

# 2027年3月期（通期）連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2027年3月期（通期）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．連結業績予想の修正について

2027年3月期（通期）連結業績予想の修正（2026年4月1日～2027年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 150,000 | 5,900 | 6,000 | 4,000 | 179.43 |
| 今回修正予想（B） | 160,000 | 6,500 | 6,600 | 4,400 | 197.37 |
| 増減額（B－A） | 10,000 | 600 | 600 | 400 | |
| 増減率（%） | 6.7 | 10.2 | 10.0 | 10.0 | |
| （ご参考）前期実績（2026年3月期） | 145,614 | 5,332 | 5,784 | 3,966 | 177.94 |

２．連結業績予想修正の理由

当中間連結会計期間におきましては、AIおよびデータセンター需要が堅調に推移した影響により、FAシステム事業において半導体製造装置や受配電盤が伸長したほか、ビル設備事業ではデータセンター向け電源設備が好調に推移いたしました。また、半導体・デバイス事業における家電向けWi-Fiモジュールが好調に推移したこと等も寄与し、売上高および利益ともに当初予想を上回る実績となりました。

第3四半期以降におきましても、急速な需要拡大に伴う部材の供給制約といった懸念があるものの、好調な需要環境や社会インフラ向け投資は継続すると見込まれ、通期の売上高および利益ともに当初予想を上回る見通しとなりましたため、通期連結業績予想を上方修正いたします。

※本資料に記載されている業績予想等は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる結果となる場合があります。

以上